

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R8年 2月 6日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 6日		～ R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に寄り添った支援と職員との心理関係の構築。今後も一人ひとりの特性に応じた関わりを継続し、より安心できる居場所づくりを強化していく。	・送迎時の対話や連絡帳を活用し、日々の様子を具体的に伝えるよう心がけている。	・質の高い支援を提供していくために、職員研修や事例検討会などを実施し、専門性の向上を図っていく。また、外部研修の参加も積極的に行っていく。
2	・送迎時や連絡帳を通じた情報共有。今後も、面談機会の充実や情報発信の工夫を行いながら、より連携を深めていく。	・一人ひとりの特性や発達段階に応じて活動内容を調整し、成功体験を積んでいけるよう配慮している。	・保護者との情報共有を充実させるため、面談機会の確保や活動報告などの工夫を行い、連携した支援体制を強化していく。
3	・職員の専門性向上と連携強化の体制を図りながら、より質の高い支援を目指していく。	・感覚統合やSSTなどでは、遊びを通して自然に伸ばしていけるよう工夫を行っている。	・個別支援計画の評価・見直しを丁寧に行っていく、目標の具体化と達成状況の明確化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間での情報共有について、伝達方法にばらつきが生じることがあるため、統一が必要と感じる。	・勤務時間の違いから、情報共有の統一が十分に図れていないことが要因ではないかと考えられる。	・職員間での情報共有体制を統一していくために、記録様式の見直しや定期的なミーティングの実施を行っていく。また、重要事項については、書面や口頭での確認を徹底していく。
2	・活動内容や支援について十分に伝えきれていない部分がある。説明方法の工夫が課題。	・日々の業務に追われてしまい、活動の意図や支援内容などを丁寧に伝える時間の確保が十分ではないこと。	・定期的な事例検討会や内部研修を実施し、支援方法の共有と専門性の向上を図っていく。
3	・個別性の高い支援方法の検討などが課題。	・児童の特性や年齢層なども多様化していることから、支援内容の幅をさらに広げる必要が生じている。	・個別支援計画の見直し時期などを明確にし、目標設定や評価をより具体的に行う体制を整えていく。